

令和6年度 授業づくりシート

教科名 自立活動		学年
単元名	「ペロペロ ふー」	
単元の目標	・舌を出して動かすことができる。 ・口形模倣をすることができる。 ・息を吹き出すことができる。	
児童の実態	A 児	個人情報のため省略
児童の個別目標	A 児	・本時のやることがわかり、落ち着いて活動に取り組むことができる。 (環境の把握、心理的な安定) ・他児との適切な関わり方がわかる。(人間関係の形成、コミュニケーション) ・口元を触られることへの抵抗感を減らす。(健康の保持、心理的な安定)

○活動内容と具体的な手立て

活動内容	児童の予想される言動	具体的な手立て
・始めのあいさつ (A 児)	・椅子の座面の上に両足を乗せる。	・椅子の背もたれに補助背もたれを追加し、両足を床につけるように促す。 ・足形を用意し、床に足を置けるようにする。
・口の体操	・顔を触ると、口元に力が入る。 ・口形模倣をするのが難しい。	・チョコソースを使用し、鏡を見せながらなめとるようにすることで、舌を動かせるようにする。なめとれた際には大いに称賛する。
・菓子を吹き落とす	・菓子を動かせる程度の風量の調節が難しい。	・友達が取り組んでいる様子を手本として見せながら、繰り返し取り組む。 ・菓子の量を調節しながら、組みみたくなるようにする。
・ロウソク吹き消し	・消そうとするが、息が続かず、吹き消すことができない。よだれが出てしまう。	・友達の手本を見せながら繰り返し取り組む。手本となる児童を称賛することで、やる気を引き出す。

○展開

時配	活動内容と教師の支援	該当児童
	○はじめの挨拶 ・サインを用いながら、あいさつを行う。 ○顔と舌の体操 ・「あいうえお」と母音の口の動きを確認しながら顔を動かす。 →教師が実際に行って、手本を示す。 ・チョコソースを口の周りにつけ、なめとるようにして舌を動かす。 ・ミルクせんべいをチョコソースで口の周りに貼り付け、舌を使ってなめとる。 ○菓子の吹き落とし ・菓子を傾斜のある台の上に置き、吹き落とす活動を行う。 ・活動の前に試食を行うことで、食べたいという意欲をもたせる。 ・息が出ない児童に対して、口の形や取り組む姿勢を考慮して食べさせる。 ○ロウソク吹き消し ・置く距離で難易度を調節しながら吹き消す活動を行う。 ・吹き消すことが難しい児童は、息を吹き出す口形模倣を行う。その際には鏡を見せる。 ○終わりあいさつ	

○児童の授業に取り組む様子

A 児	・初めは、口形模倣が難しく顔に触れられるのも嫌がっていたが、回数を重ねるごとに活動内容がわかり口形模倣ができるようになってきた。友達のことをとても意識していたので、友達と対面に座らせて取り組むことで、できることが増えた。 ・口形模倣ができるようになってから、吹くことも上手になり、ろうそくの吹き消しも吹く強さや角度を自分なりに考えながら取り組む様子が見られた。 ・自分のタイミングで声を出すことはあったが、意図して声を出すことは難しかった。
-----	--

グループ全体の反省・課題 等

- ・繰り返し行うことで児童も活動内容がよくわかり、できることが増えていた。
- ・個人差はあれど、みんなで同じ活動を行うことで「吹く」という活動が全員行えるようになった。吹くと「ロウソクが消える」や「吹いて落とすことでお菓子を食えることができる」などの結果がわかりやすいことが重要だと感じた。
- ・友達を意識して手本を見ることが増えてきたので、継続しながらも「声を出す」という活動につなげていきたい。

